

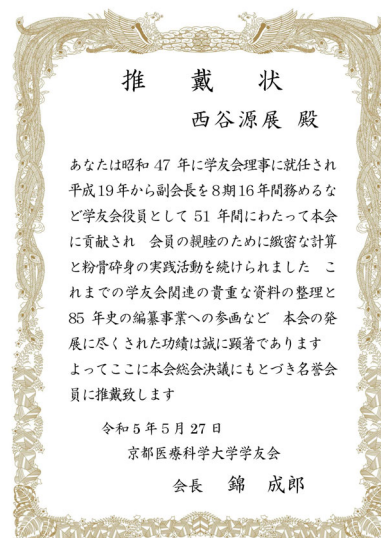
## 【推戴】

## 学友会名誉会員の推戴

西谷源展氏 44 回生 京都支部

## 学友会理事会

西谷源展君は、昭和 47 年に学友会理事に就任し、平成 19 年から副会長を 8 期 16 年間務めるなど、学友会役員として 51 年間にわたって本会に貢献し、会員の親睦のために緻密な計算と粉骨砕身の実践活動を続けた。また、これまでの学友会関連の貴重な資料の整理と 85 年史の編纂事業への参画など、本会の発展に尽力をつくした功績を称え、本会総会決議にもとづき名誉会員に推戴する。



## 名誉会員の推戴を受けて

西谷源展(44 回生)



令和 5 年 5 月 27 日に開催の 2023 年学友会総会(広島)において名誉会員に推戴され、ご承認をいただきました。身に余る名誉と心から喜んでいきます。

私は母校が「レントゲン技術専修学校」と称した時代に入學し、在学期間は 2 年でしたが、診療 X 線技師から診療放射線技師への法律改正があり、専攻科という形で 1 年間在学を延長して 1970 年(昭和 45 年)に卒業して診療放射線技師となりました。当時、母校では専任教員は滝内政治郎校長と山田勝彦先生(現 京都医療技術短期大学名誉教授・学友会名誉会員)のみで、ほとんどが外来講師でした。就業年限が 2 年から 3 年になり、学内実験も多くなり実質的には専任教員で常に学生を相手にされていたのは山田勝彦先生のみ状態でした。

そんな状況であったために、専任教員として卒業と同時に母校に残ることとなりました。その後、学校は京都放射線技術専門学校、京都医療技術専門学校と校名が変わり、平成に年号が変わった 1989 年(平成元年)に京都医療技術短期大学となり 2007 年(平成 19 年)に京都医療科学大学となりました。

学友会では 1972 年(昭和 47 年)に学友会理事となりました。当時は「学友だより」が定期発行でなく、編集者が学校に訪問して原稿が集まれば発行するなど不定期でした。これを定期的に発行するために編集委員会を設け、定期的に年 4 回の発行となりました。私は編集委員として学内で発行作業・発送作業を手伝いました。1985 年(昭和 60 年)頃からは長年にわたり会計事務をされていた学校事務職員の退職に伴って学友会会計を引き継ぎました。この頃は、学友だよりの編集、発送・会員名簿発行・会計事務と色々な業務を行っていました。

この間、学友会を通じて多くの卒業生の先輩・後輩と貴重な繋がりを持つことができました。このことは私の人生にとって大きな財産となっています。

今後は、学友会名誉会員の名に恥じないよう、残された人生を学友会及び母校の発展のために尽くしていく所存です。名誉会員推戴のお礼とさせていただきます。

以上